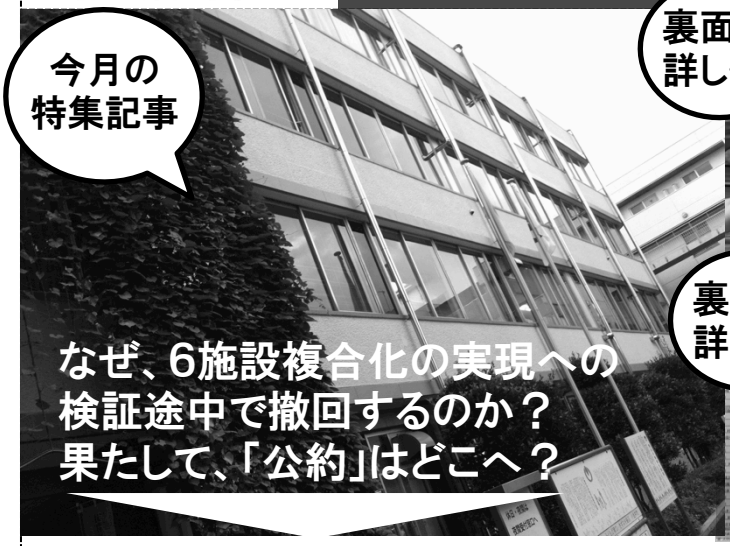
こがおも
KOGAOMO

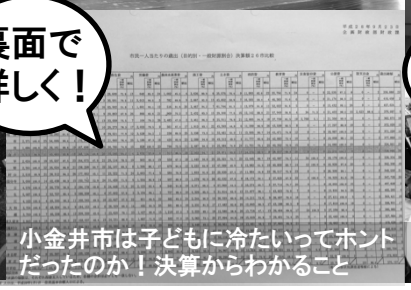
噂の
こがおもマガジン

小金井市を、もっとおもしろく。

発行・責任編集：
小金井市東町4−43−1
三楽荘B号室
白井とおると
小金井をおもしろくする会

ほぼ月刊版
VOL.38
2016年10月11日発行号





市役所問題は、未だ決着せず。

6施設複合化は「ゼロベース」に

平成28年第3回小金井市議会定例会の最終日である10月4日、西岡市長は福祉会館などとの新庁舎複合施設整備の方針を「ゼロベースにする」と本会議の市長報告で発言しました。昨年12月の市長選挙で最大の公約として打ち出した「新庁舎6施設複合化」は、元々建設場所が決まっていた新福祉会館の市民検討委員会を何の説明もなく延期としたことからはじまり、当初から西岡市長の進め方に対して議会側から反発が強かったといえます。3月にようやく立ち上げた6施設複合化の実現を検証するプロジェクトチームが作業中の5月に西岡市長は「図書館を複合対象から外す」旨を答弁し、議会側は福祉会館機能と庁舎機能の2機能4施設複合化へ修正したものと捉えていました。8月31日にプロジェクトチームから提出された報告書には議会側が求めた「財源計画」「建設スケジュール」などが盛り込まれておらず、「実現性を検証するために立ち上げたのに、実現性の検証にはなっていない」と批判を浴び、市長が議会最終日に方針を出すことになっていた中での発言です。これで、またもや新庁舎建設のみならず、新福祉会館建設も当初のスケジュールからさらに遅れていくことにならないか、危惧されています。

WHY？ 理解不能な「途中投げ出し」！？

議会の調整が困難であることは初めから分かっていたことです。しかし、PTの最終報告書が出て市長の方針も固めないまま、また、そこで示唆されている「専門家チーム」による詰めの検証もしないまま、西岡市長自身が『民意』と述べていた6施設複合化をゼロベースに戻すということは、余りにも無責任な行動ではないでしょうか。市長が「方向性を示す」ことを待って、議会でそれを議論する予定が、ドタキャンで白紙撤回という有様です。自身で市長選のメイン政策として掲げ争点にしたにもかかわらず、議会での議論も避けそれを検証せずに投げ出すというのは、西岡市長の独りよがりに小金井市全体が振り回されているという現状と捉えています。

YES！「複合化」自体は悪い政策ではない

新庁舎建設において「複合化」というプラン自体は悪い政策ではありません。財政事情が厳しく、建設費や維持管理費の側面だけではなく、複合化することによっての人の交流面での相乗効果も考えられます。かつて新庁舎建設の基本計画をまとめる際に、委員からも複合化の検討ができなかった（当時の市長の諮問が庁舎単独だったため）ことに少し触れたコメントが残っています。突き詰めて検証し具体的なプランを踏まえ市民を巻き込んで世論をつくり、実現へ向けて取り組んでもらいたいです。

～これまでの経過～

昨年12月 市長選の公約 — 4機能6施設複合化
- 庁舎機能（現・本庁舎と第二庁舎、本町暫定庁舎）
- 福祉会館機能（旧福祉会館）
- 図書館機能（現・図書館本館）
- 集会施設機能（前原暫定集会施設）

6月 プロジェクトチーム PTの中間報告 — 2機能4施設複合化
- 庁舎機能（現・本庁舎と第二庁舎、本町暫定庁舎）
- 福祉会館機能（旧福祉会館）

5月、6施設のうち図書館と前原暫定集会施設を対象外とする方針へ急遽変更

8月 プロジェクトチーム PTの最終報告

「6施設複合化では約109億円、防災機能優先複合整備でも約79億円規模の支出を伴う事業であることから、事業の推進に当たっては他の行政需要とのバランス等を勘案の上、総合的に判断されていくべきものと考える。」

「財政的な課題も踏まえ実現できるかどうかを検証する」と言っていたはずが、財政計画やスケジュールには言及せず、期待された検証結果報告になっていない

10月 市長報告（抜粋）

『新庁舎の建設に当たっては、これまでの長い経過もあり、市民の皆さん及び市議会とともに、着実に進めていくことが、何よりも肝要であります。そこで、私は、市長としての責任において、議長及び市議会からのご指摘いただいた課題を踏まえ、ゼロベースで見直すことを決断し、今後、市民・議会・行政が一体となって、進むべき方向を定めてまいります。』

事実上の撤回

「新庁舎複合化」への市議会各会派のこれまでの態度

×２機能４施設複合化に難色

- 公明④
- 共産④

両会派共、新福祉会館を本町暫定庁舎跡地へ（早期に建設）の線を固持

- 自民G⑥

6施設複合化には難色を示していたが、2機能4施設複合化には「賛成してもいい」という発言も

決して圧倒的反対多数という状況でもない

- 民進②
- リベ保②
- ネット②
- 市自治②
- 市民会①

○２機能４施設複合化に賛成、または比較的前向き

※篠原議長は「改革連合」という1人会派ですが、議場での採決に加わらないため割愛

○公立保育所、H32年から民間委託→2年後、検証を踏まえH34年から民間へ委譲という方針

9月8日の小金井市議会厚生文教委員会にて、市は小金井市の公立保育園の民間委託について、職員団体へ「今後の保育サービスの基本方針（案）」を提示したと報告しました。保育課長からは「**公立保育所5園のうち果たすべき役割を担う上で必要な保育所を除いて平成32年から業務委託、その後検証をし平成34年から民設民営へ移行する**」と発言がありました。

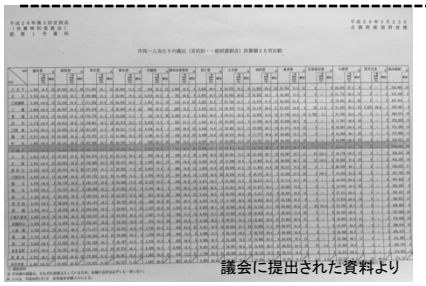
※写真はイメージです

POINT

市は「現下の財政状況も踏まえ、庁内で検討した」と述べていますが、昨年度の保育検討協議会からの答申で提示された多くの課題をどのようにクリアにするのかを詳しく示す必要があります。拙速に進めない姿勢は評価できますが、小金井市の保育行政のビジョンはなく、「質」の議論抜きには委託の判断はできないものと考えます。

○子どもにかけるお金は、多摩26市でワースト

～H27年度決算「市民1人あたりの児童福祉費」より


議会に提出された資料より

小金井市の平成27年度決算が賛成多数（賛成11対反対11→議長採決）で認定されました。浮き彫りになったのは子ども福祉に関連する「児童福祉費」の予算執行額は市民一人あたりに換算すると多摩26市でワースト（￥62,067）です。

多摩26市のうち、近隣の自治体と比較してもその差は明らか

※単位：円　、児童福祉費は市民1人あたりの額、隣接7市＋中央線沿線の国立市・立川市との比較

近隣・中央線自治体	児童福祉費
立川市	71,048
府中市	69,558
国立市	66,704
国分寺市	65,837
小平市	65,432
三鷹市	65,223
西東京市	64,640
武蔵野市	63,677
小金井市	62,067

＜その他決算統計メモ＞
経常収支比率90.8%
（前年度は95.4%）
人件費比率15.3%
（前年度は16.6%）

この決算は前稲葉市長の市政下での内容となるため、西岡市長の市政としての評価は今年度の決算内容をみて判断ということになります。いずれにせよ、子どもの福祉に使う予算が少ないことは、改善する余地が大いにありそうです。

HEADLINEニュース

▼ヒガコに「スタバ」ができる！？

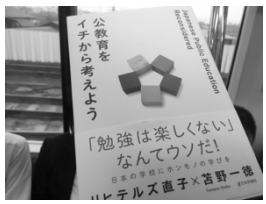
東小金井駅のnonowa東側に入居していたテナントが撤退して時間が経っていますが、そこにスターバックスが入居するという噂でもちきりです（求人情報がネットに出ていました）。11月中にはオープンするとみられていますが、またヒガコに新しい顔が生まれそうです。新たな人の流れができるといいですね。

東小金井駅付近にはいくつか美味しい珈琲を飲む店がありますが、相乗効果でヒガコ地域全体の集客が期待されます（写真は10月6日撮影）。

▼市議会議員選挙は、来年3月26日に

ご存知の方は少ないかも知れませんが、来年は市議会議員選挙です。選挙管理員会によると、2017年3月19日告示→3月26日投開票のスケジュールで行われる見込みとなりました。4年前の市議選は定数24名に対して35名立候補という乱戦でしたが、今回も同様に多数の立候補が予想されます。普段の議員の活動もしっかりチェックしておいてください。

▼今月のおすすめ本



「公教育をイチから考えよう」（リヒテルズ直子×苫野一徳／日本評論社）
日本の「公教育」の意味を、オランダの教育などとも比較して改めて考える書です。

特別企画　**市議会定例会の内容レビュー&意見交換**

シン・シライdeナイト

10/20（木）20:30～

@こがおも事務所

参加費：100円
申込不要／入退場自由

新庁舎「ゼロベース」問題、公立保育所民間委託方針、決算概要など、簡単なレビューとざっくばらんな意見交換の場です★

10月のこがおもツキイチ勉強会

なぜ、新庁舎6施設複合化は「ゼロベース」に転換したのか？

過去に開催したイベントの様子

10/30（日）13:00～15:00

@こがおも事務所

参加費：100円
申込不要／入退場自由

これまでの新庁舎建設と新福祉会館の建設が進まなかった経過と、西岡市長が自身の最大の公約を「ゼロベース」と発言した内容をお伝えします。そして、皆さんと意見交換を踏まえ、今後どうするべきかを一緒に考える場です★

白井とおると
小金井をおもしろくする会　代表　白井 亨（しらいとおる）

元小金井市議会議員

白井とおると小金井をおもしろくする会代表。1975年生／大阪府枚方市生まれ・育ち。2007年に転勤で偶然小金井市に住みつく／3歳と6歳の子育て中。約6年前まで“無関心市民”、小金井市は“寝に帰るだけのまち”だったところ、2010年子どもが生まれたことがキッカケで地域デビュー。2013年3月、13年間勤めた会社を辞め「地盤・看板・カバンなし」で選挙素人市民だけで小金井市議会議員選挙を戦い初当選。完全無所属。2015年10月末で議員辞職し小金井をみんなで、ホンキで変えるため同年12月の市長選挙に立候補するも惜敗。今、再び会社員（認知症予防プログラム開発・新規事業立ち上げ、企画・マーケティング）。

【これまでの実績】

▼自身の一般市民時代の感覚をもとに、市役所改革（行財政・人材育成・ガバナンス）、保育園待機児童問題、子育て環境の充実、シティプロモーション、オープンガバメント、市民主体のまちづくり、2025年問題、議会改革などに取り組む
▼議員時代、誰でも参加できる「議会カフェ」をほぼ毎月開催。素人でもわかりやすく、市政状況を解説し意見を引き出す「対話」を地道に実行
▼第8回マニフェスト大賞「優秀ネット選挙・コミュニケーション賞」受賞、第10回同賞再受賞（H25年小金井市議会新人議員チームの取り組み）
▼毎日フォーラム、日経グローカル、政治山、政治美人などメディアへの寄稿・取材多数

アンバサダー（会員）募集！！

一緒に活動、または活動を応援してくれませんか？（年会費2,000円）ご興味のある方は、お気軽にお問合せください★会員になると→こがおもマガジンの郵送、定期メルマガ配信で市政情報がまるわかり！

寄付も受け付けてます（^^）

遠慮なく、お気軽にご意見ください★

kogaomo@gmail.com
twitter @shirai106
facebook facebook.com/shirai106
facebook.com/kogaomo
Ameba ameblo.jp/toru-ga-toru/
WEB http://kogaomo.com/
事務所 東町4-43-1 三楽荘B号室